

# フリースペースかめっこ<sup>たより</sup>

令和5年5月22日発行  
 特定非営利活動法人亀っ子サポート  
 事務所  
 〒519-0103 亀山市川合町766番地7  
 ☎0595-86-6186  
 e-mail:kamekko@zc.ztv.ne.jp  
 文責 椋谷 英一

## 理事長就任の挨拶



就任のご挨拶  
 新しく理事長に就任いたしました稲葉 栄一です。前任の方には力が及びませんが、皆様のお役に立てるよう努力いたしますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

「亀っ子サポート」は、児童生徒が安心して教育を受け、生活できる場づくりを目指しています。

本来は、家庭や学校が担うべきことですが、様々な事情により難しくなっています。会員やスタッフの方々の力を借りながら、誰もが利用しやすい「居場所づくり」を考えていきます。

悩んで考え込む事より、相談することが大切です。それぞれの困り事や思いは違いますが、お互いに出し合い、交流できる

場も大切にしていきたいと思ひます。  
 教育者、保護者、児童生徒の懸け橋になれるように願ひつてます。

### 特定非営利活動法人

#### 亀っ子サポート役員名簿

理事長 稲葉 栄一  
 副理事長 関 喜照  
 事務局長 椋谷 英一  
 監査 三井 小枝



## 中部中学校で研修会「生徒（不登校）理解のために」をしていただきました

亀山市立中部中学校で5月17日（水）14:30～16:10の時間を使って、「生徒理解（不登校）のために」と題して、研修会をさせていただきました。

その中で、研修の柱に

- ①不登校のきっかけ
- ②いじめから見えるもの
- ③発達障害から見えるもの

を据えて、不登校になる生徒や保護者の思いを、どのように受け止め、今後に活かしていくかを考えました。

特に、いじめや不登校から「見えるもの」と題したのは、「学校生活」の中で、先生方が「いじめ」の対策や「発達

人権教育だけでは難しい課題

みんなが「正常なよい仲間」になろうとしたって、いじめは解決されない。  
 仲間のなかで「異常」であることが許される状態だけが、いじめの問題を解決する。

・森 毅(剛)の言葉  
 「不健康のまま生きていく」  
 【はみだし数学のすすめ】1994年

不登校生徒へのアプローチ(1)

発達障害者支援法と不登校支援

- ・できる事、得意な事、興味を示す事からの出発
- ・選択を聞く。未来を聞く。肯定的に聞く。

子ども自身の自己理解の手助けを

- ・叱る前に What,HowWhyの確認を
- ・自己理解は、自己肯定感を育てる

障害者」に対する支援を考え、実践する事が、多くの生徒にとって、楽しい「学校生活」

を発現する事に繋がると考えたからです。

また、学校という子どもにとって最も重要な外的環境を、子どもの成長を保障する環境にするためには、「見えるもの」の中から課題を見つけ、実践の中から、「見えたもの（成果）」を共有していくことが必要との思いがあるからです。

不登校生徒への見守りや寄り添い（支援）を、「子ども同士や先生との関係から生じる様々な不具合を、どのようになくしていくか。」を考える事から始めていただくことが最も大切と感じています。